

平成25年12月30日
健康福祉部食品安全局
衛生食品課
監視指導・表示対策係
内線：2452

株式会社アクリフーズ群馬工場に対する立入り調査の概要について

1 概要

平成25年12月29日（日）に、株式会社アクリフーズが製品の一部から殺虫剤（マラチオン）が検出されたため、自主回収を開始する旨の報告があり、製造所を管轄する館林保健福祉事務所が立入り調査を実施しました。

- (1) 調査日時 平成25年12月30日（月） 午前10時30分から午後2時30分まで
- (2) 調査者 館林保健福祉事務所職員 4名
- (3) 対応者 株式会社アクリフーズ 品質保証室長ほか1名、株式会社マルハニチロ1名
- (4) 対象施設 名称：株式会社アクリフーズ群馬工場
所在地：邑楽郡大泉町1201
- (5) 営業者 株式会社アクリフーズ 代表者 田邊 裕（たなべ ゆたか）
- (6) 調査内容
- 包材資材の保管状況
製品により包材の製造メーカーが異なり、ライン毎に保管されている。
 - 使用薬剤の保管及び使用状況
工場内で使用する薬剤には、マラチオンは含まれていないことを確認した。
薬剤の使用履歴の記録を適切に保管していた。
 - 製造工程の概要
各製品によりラインが分離され、交差は認められない。
 - 異臭苦情品の詳細
ピザ11件（5製品）、フライ8件（5製品）、コロッケ1件の20件で、
13都府県（不明1）にわたる。
うち、マラチオン検出されたもの9件（6都府県、不明1）。
また、苦情品における同一包装内の個々の製品について、検出濃度に差があり、均一ではなかった。
 - 原材料の確認
原材料のうち農産品について、定期的に残留農薬検査成績を確認する等により、安全を確認している。
 - 製品の検査
品目毎にサンプリング頻度は5回／日で、苦情品に対応する保存サンプルから異味異臭が確認されたものはなかった。
 - 流通ルート
製品保管倉庫は県外3カ所あり、すべてのルートから苦情品が見られた。
- (7) 結果
- 工場内で使用されている薬剤リストにはマラチオンは確認されず、苦情品の汚染が均一でないことから、通常の製造工程上で汚染された可能性は低いものと考えられた。
また、検出されたマラチオンは高濃度の汚染であり、原材料に由来するものとは考えられなかった。
以上のことから、当該製造施設における製造工程上で汚染された可能性は低いと判断した。

2 今後の対応

本県としては、当該製品による健康被害の情報の把握に努めるとともに、マラチオンが当該製品に混入した原因究明に向けて、引き続き調査を行っていくこととする。